

Tokai Fubokon Letter

シリーズ「知りたい! 隣の父母懇」

豊田岡崎 新歓<4/29>

豊田岡崎地区では新入生歓迎会を兼ねた春の懇親会を開催いたしました。名古屋市にまん延防止等重点措置が出ておりましたので、幹事さんはガイドラインに従い、会場設営や進行はコロナ対策を第一に考えて下さいました。



会場: 豊田市崇化館交流館

地域担当の紺野一弘先生(高校社会科)は、昨年度の入試動向や共通テストのふり返りといった大学入試を中心としたお話と、コロナ禍での学校行事の難しさと必要性についてお話していただきました。

ゲストとしてお迎えした高橋健先生(中学数学科)は、部活動は先生と生徒の距離を縮めることができる教育の場として大切にしていってほしいこと、そして反抗期は大人になるための大切な時期であり、最後の甘えと受けとめることもできると、息子との向き合い方についてお話していただきました。



もう一人のゲスト、OBの佐々木慶太さん(名大-医)は、バスケット部の仲間は様々な場面で励まし合い、刺激し合い、高め合うかけがえのない存在であることを語っていただきました。また、お母さまが部活の応援や習い事のロボット大会出場への協力を惜しみなくしてくれたこと、浪人中に目標を見失いそうになった時、「あなたの目標はここでしょ!」と息子を信じて道を示してくれたことをお話していただきました。

予想以上にたくさんの父母の皆さまがご参加くださり、コロナ禍だからこそ周囲の方々や先生方との交流が必要とされているように感じました。特に新入生父母の皆さまからは様々なご質問があり、「学校に問い合わせるほどではない小さな心配や疑問が解消できました」とのご感想をいただきましたので、地域懇が不安解消につながるならば、コロナのなかでも活動できる機会をこれからも模索していきたいと思いました。



遠方までお越しくくださった紺野先生、高橋先生、佐々木さん、幹事の皆さま、本当にありがとうございました。

【参加者の感想】

- 新入生が年々増加しているの、なかなか昔のようなアットホームの会はできなくなっている上、コロナ禍が重なり、縦横の繋がりが作りにくい中、今日の会を開催していただきとても有難かったです。コロナ禍で、気軽に名古屋まで出掛けにくい状態となり、学校の情報がほとんど入らなくなりました。受験についても、全部息子に任せるしかない状態です。

色々な先生のお話、OBの方のお話、同期ママ達との話を通して抜け落ちていた部分が埋まったように思います。なので、私の精神的不安が大いに解消されました。

コロナが落ち着き、秋の会も開催できますようにと、願うばかりです。(高3母)

- どんな雰囲気なのか、また、自分から声を掛けるのが苦手な為、お母様方ときちんと話せるか本当に、本当に不安でした。でも皆様から声をかけて頂き、

その優しく温かく、丁寧な気遣いと対応に安心と心強さを肌全体で感じ、色々にご相談する事が出来ました。

こんな有意義な時間をご用意下さった役員の方々のご尽力に心より感謝申し上げます。

帰り道、心が軽く、自然と笑っている自分がいました。この皆様とのご縁を大切にしたいと思っております。(中1母)

- お二人の先生のお話で和み、卒業生の方のお話はとても参考になり部活と勉学の両立に対する不安がなくなりました。先輩保護者の方々の連携やコロナ対策も完璧で(マイクの消毒など)素晴らしい会に参加させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。(中1母)

事務局を‘卒業’する先輩からの

メッセージ

杉浦先生からお電話をいただき、私に重責を担うことができるのか心配になりつつ事務局の仕事をお受けしました。活動した2年間を振り返ってみると、とても懐かしい気持ちになります。

最初の1年間は先輩事務局さんに仕事を教えていただき、サポートしていただくばかりでしたが、他地域の違う学年のお母さま方ともお知り合いになることができ、いろいろな情報を共有することができました。

コロナ禍になり、父母懇の活動も中止が続くと、事務局の皆さまと活動していた日々は充実していたのだなと実感し、改めて皆さまにお会いしたいと思うようになりました。

また、先生と直接お話できる機会も増え、学校で

の息子の様子を教えていただいたり、勉強のアドバイスやサポートをしていただくことができました



忘年会の準備



幹事会で発表

た。そのおかげで息子は落ち着いて受験勉強に励むことができ、大学に

合格することができました。

東海での生活は、親子ともども宝物のような日々でした。その要因の一つは、父母懇での活動のおかげだと思っております。本当にお世話になりました。

父母懇の先生方、地域の皆さま、事務局員の皆さま、ありがとうございます。振り返ると大変なこともあったが、それも含めて感謝しかありません。

事務局では学年も地域も異なる方々と知り合うことができました。そうした方々と一緒に父母懇行事を重ねることにより、母としての「東海生活」が豊かなものとなりました。東海中高父母懇談会がますます盛り上がることをお祈りしています。

父母懇活動を通して先生方をはじめ、色々な学年や違う地域の方とも接することができました。様々なことを学び、貴重な経験をさせていただきました。

父母懇事務局は特別な存在だと思っており、不安なことばかりでした。そんな私を先生や事務局の皆さまが温かく支えてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

事務局の思い出

私は事務局に3年在籍しました。

1-2年目は部活動のような、学校の文化祭を子供たちと一緒に楽しむようなチーム感で、事務局で知合った「仲間」と父母懇活動を楽しみました。

事務局員は大変だとよく耳にしますが、楽しく人と



総会後に新旧で集合



司会



事務局OB会

卒業後も交流は続きます

会うことが嫌いでなければ、濃密な仲の良い関係を築くことができる「仲間」との出会いが一生の宝物になります。人生折り返しの時期に濃密な「仲間」ができるとは思っていませんでした。



豊橋での研修後

そして地域の人たちや、他学年のお母様方との交流もでき、一気に充実した日々となりました。

東海中高の中だけにいると、つい息子の生活態度や成績などが気になってしまいがちですが、事務局で活動していると東海の父母という立場をぬけだして、「自分たちが何かをやれる」という自分が準主役になれる環境がそこにあります。



自分の視野を広げることができ、また他学年のお母様との知り合いも増えて、更に東海ライブが楽しいものになりました。

子供のために母の役目だけするのではなく、もう一度東海中高父母懇の場所を借りて、青春時代をちょっと思い出すような体験をできるのが、この東海父母懇事務局であると思います。自分のためだけでなく誰かのために活動することって充実感がありますよ！

私にとって東海父母懇事務局はこれからの自分を楽しいものに変えてくれる出会いをいただけた場所でした。



高フェスのパレード応援

3年間、お世話になりました。そしてありがとうございました。感謝の想いでいっぱいです。

ご縁をいただき事務局員として大変お世話になりました。事務局のお仕事を通して多才な先生方、素敵な保護者の皆さまと出会えたことに感謝いたします。おかげさまで思い出の



バスハイクの下見

多い東海生活を送ることができました。

今後も東海父母の絆が続きますようお願いいたします。ありがとうございました。



バスハイクの当日案内役

今後の掲載予定

- ・新代表挨拶
- ・シリーズ「知りたい! 隣の地域懇」など

編集後記

ほとんどの地域の新歓が延期になる中、豊田岡崎地域の報告と感想を読むと、開催自体をうらやましく思います。そして地域懇の意義と必要性を痛感します。

‘卒業生’メッセージと一緒に活動してきた先輩方がどんな気持ちで活動をしていたのか、父母懇への思いがぎゅっと詰まっていて、胸が熱くなりました。感謝いっぱい卒業できるように、我々も走り抜けます!